



山口宇部 医療センター だより



P2 ● 第44回 市民公開講演会「呼吸器フォーラム」

P4 ● 診療科特集 「放射線治療」について

P5 ● 令和8年 新採用医師・職場長等紹介

P6 ● リハビリテーション科「呼吸体操」

P7 ● 特殊外来・健康教室・相談窓口等案内

P8 ● 外来診療担当表

理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

基本方針

1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
5. 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。

第44回 市民公開講演会 「呼吸器フォーラム」

皆様こんにちは。去る2026年2月21日(土)、第44回市民公開講座「呼吸器フォーラム」を開催いたしました。三寒四温の言葉通り、当日はうららかな陽気に包まれ、春の訪れを実感する1日となりました。多くの方々にご参加頂き、誠にありがとうございました。

当院では年2回市民公開講演会を開催しており、「がんフォーラム」では、がん診療の最新情報や課題を、「呼吸器フォーラム」では、様々な肺の病気を解説しています。今年の「呼吸器フォーラム」も二部構成で実施しました。



〈執筆〉

山口宇部医療センター
内科系診療部長
恐田 尚幸

第一部

『増えている肺の感染症 —非結核性抗酸菌症とは—』

山口宇部医療センター 呼吸器科医長 坂本 健次



第一部は、当院呼吸器科医長 坂本 健次(さかもとけんじ)先生が、「増えている肺の感染症 —非結核性抗酸菌症とは—」と題して講演を行いました。冒頭で肺非結核性抗酸菌症の認知度が他の呼吸器疾患と比べて低いことに触れ、その後、疫学から経過・診断・治療まで分かりやすく説明して頂きました。また、当院での実際の症例も提示して頂きました。



非結核性抗酸菌症とは？

- どんな病気？
- 結核とどう違う？
- 他人へ感染する？
- 治療は？



治療

「成人非結核性抗酸菌症化学療法に関する見解」 -2023年改定-

①薬物療法

内服薬が中心ですが、点滴や吸入薬を組み合わせることも多いです。薬剤だけで治癒させることが出来ない場合もありますが、進行を遅らせる目的です。



②手術

病巣が局限している場合、咯血を繰り返す原因となる病巣がある場合などに検討します。



③栄養療法

痩せている方(BMI < 18.5)が予後不良とされており、栄養状態の改善を図ります。



山形県立総合医療センター 呼吸器科診療部 呼吸器科医長 坂本 健次 敬告

第二部 特別講演

『早く知っておきたい息切れの話』

〈外部講師〉 山口大学大学院医学系研究科
呼吸器・感染症内科学講座 教授
山口大学医学部附属病院 病院長 **松永 和人** 先生



第二部は山口大学大学院医学系研究科 呼吸器・感染症内科学講座教授で、山口大学医学部附属病院病院長をご兼任されている松永 和人（まつなが かずと）先生より、「早く知っておきたい息切れの話」と題してご講演頂きました。まず、息切れは健康寿命を縮める重要な原因であること、息切れを放置すると心や体が衰え、社会活動性も低下した状態（＝フレイル）となり、更に医療・介護費の増加につながる症状であることを解説されました。そして、息切れの原因となる様々な病気、呼吸器疾患の中ではCOPD（慢性閉塞性肺疾患）が主要な生活習慣病であることを強調されました。COPDは2000年に厚生労働省が策定した健康日本21に明記された病名で、推定

される患者数は530万人（40歳以上の10人に1人）に上ります。一方で、実際に通院治療を受けている方は5%に留まっており、今後は死亡率の低下が課題であること、COPDの診断には呼吸機能検査が用いられ、「簡単・安心・安価」であること、予防と治療の第一歩は、「禁煙」であることをわかりやすく説明されました。更に、COPDはフレイルと密接に関連しており、心血管病の死亡リスクを高める点についても触れ、最後に山口県におけるCOPD対策の取り組みについても言及されました。

講演後は質疑応答があり、治療の実際や疑問点について熱のこもった議論が交わされ、盛会のうちに終了いたしました。

息切れを放置することで失ってしまうこと ①

「生活行動による息切れ」は健康寿命を縮める重要な原因

日常生活行動による息切れ
(外出・食事・入浴など)

「心身のフレイル」
息切れを避けるために生活行動を制限
(座りがち、無関心など)

「身体/社会性のフレイル」
筋力・運動能力の低下
社会活動性の喪失
(疲れやすい、閉じこもりなど)

心臓病・認知症など合併症
入院・死亡リスクの増加

*フレイル：心と体の機能が衰え、社会活動性も低下してきた状態

山口大学 松永和人作成

息切れの原因となる病気

運動不足や肥満による筋力低下 (RKG)

心臓のトラブル

肺のトラブル

ストレスや過呼吸による呼吸困難/パニック発作

貧血や代謝異常

早く知っておきたい息切れの話

- 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の現状
- 知れば簡単！ 早期発見と治療のポイント
- COPD対策を強化することの意義
 - 健康寿命を短縮するフレイルや認知症との関連
 - 合併する心血管病に及ぼす想定以上の影響
- 山口県におけるCOPD対策の取り組み

COPDの診断方法・・・呼吸機能検査

スピロメトリー
肺の健康状態をチェックする
小学生でも受けられる前便な検査です

① 息を吸って吐くだけ
思い切り息を吸い込み、一気に「フッー！」と吐き出すだけの検査です。

② 痛みはありません
採血や注射のような痛みは全くありません。数分で終わります。

③ 費用は約1,000円
3割負担の場合の目安です。手軽に肺のチェックができます。

GOLD日本委員会

COPDの予防と治療の第一歩は、禁煙！

60歳以上の喫煙者では、3人に1人でCOPDの疑いがあります

禁煙はCOPDの重症化を抑制し、増悪や死亡率を減少させる

山口県は、なぜCOPDの死亡率が高いのか？

項目	全国	山口県
人口の高齢化率 (総人口における65歳以上の割合)	29.0%	35.2% (全国第4位)
COPD受療者に占める入院患者の割合 (入院患者数/外来患者数+入院患者数)	26.3%	45.2% (全国第1位)

高齢化率とCOPD死亡率の関連性：高齢化率の上昇に伴ってCOPDの死亡率も上昇する傾向がある。

資料：厚生労働省「平成27年国民生活基礎調査」(2015) 人口動態調査(人口動態統計) 健康増進局「平成27年度COPD対策」

次回は秋頃に「がんフォーラム」を開催する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。今後も専門医療機関として良質な医療を提供できるよう、情報発信に努めてまいります。引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

放射線治療
について

放射線科医長
田口耕太郎



放射線治療はターゲットを決めてその部位にX線を照射する、がん・悪性腫瘍に対する局所治療のひとつです。ターゲットのサイズは3×3cm(定位照射)のように狭い場合や20×20cmのように広い場合もあります。

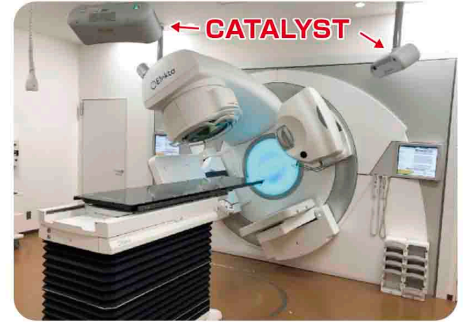
治療内容としてはI期肺がんの体幹部定位照射。II-III期肺がんの抗がん剤併用の根治照射。乳房温存療法での術後予防照射。進行がんでの骨転移に対する緩和照射などを施行しています。

治療機器はエレクタ社Infinity(図①)を使用し、照射部位の位置合わせのために、体表面光学式トラッキングシステム(CATALYST(図①・②))、CBCT(低線量kvX線)を併用しています。

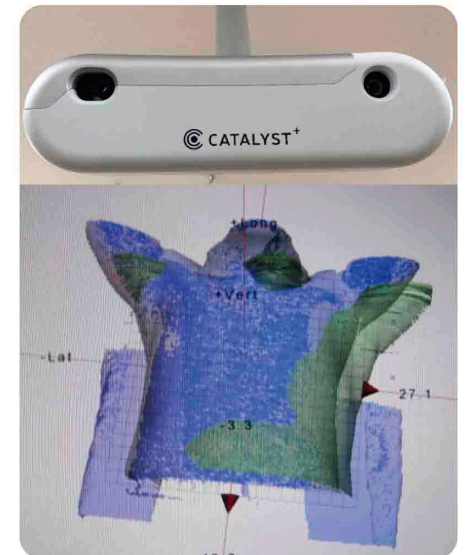
皮膚マーキング(油性ペン・シール)は美容面を考慮して最小限とし、体表面光学式トラッキングシステム(CATALYST)を使用することにより、被ばくなしで3次元的位置合わせをします(体表面で5mmの精度・5-10分)。

高精度が必要な症例では、さらにCBCT(CTでの位置合わせ、数mmの精度)を施行しています(+5分)。位置合わせで計15-20分程度を要し、その後X線照射(数分程度)して、1回の治療は終了します(計20-25分)。

治療(X線照射)中もCATALYSTでモニタリングし、正確に照射されていることを確認しながら、日々の照射を施行しています。



放射線治療装置 Elekta社製Infinity図①



体表面光学式トラッキングシステム(CATALYST)図②

治療開始から終了までのながれ



令和8年 新採用医師・職場長等紹介



呼吸器科医師

吉山 大貴

(よしやま ひろき)

[専門分野] 呼吸器内科
[診療抱負] 患者さんに寄り添い、地域に信頼される誠実な呼吸器診療の提供を行ってまいります。

[自己紹介] 令和8年4月より新たに着任いたしました吉山大貴と申します。研修は岩国医療センターで、昨年度は山口大学で呼吸器疾患の診療に携わってまいりました。当院で家族がお世話になったご縁もあり、この度働けることを楽しみにしておりました。多職種と連携しながら、患者さん一人ひとりに寄り添えるよう誠実に診療に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



事務部長

中村 一弥

(なかむら かずや)

この度、関門医療センターから着任しました中村と申します。

当院での勤務は18年ぶり2回目となり、日々懐かしい景色や美しい景観に癒やされつつ、通勤も1日2時間から10分と至便となり、喜んでいるところです。

さて当院は、がん、呼吸器疾患、そして重症心身障害児(者)の専門病院・施設として地域に根ざし、患者さん中心の医療の実践に取り組んでいるところです。しかしながら、医療や障害福祉サービスを取り巻く環境は厳しさを増すばかりであり、その運営は、一層困難なものになってきているところです。

患者さんご家族、地域の皆さんから一層信頼され、職員が働くことに一層誇りを持てる病院となれるよう、微力ではありますが、尽力して参りますので、ご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



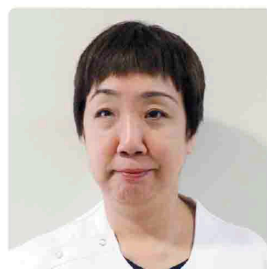
薬剤部長

小暮 友毅

(こぐれ ゆうき)

4月1日付で浜田医療センターより着任いたしました小暮友毅です。

NHOに就職して以来、長らくがん領域を担当してまいりました。その経験をここで少しでも活用し貢献できたらと考えております。山口県の病院は初めてとなりますので、色々な意味で初心を忘れずに頑張っていきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願いいたします。



副看護部長

岡田 愛

(おかだ あい)

この度、4月1日付で関門医療センターより着任いたしました、副看護部長の岡田愛と申します。院長をはじめ、皆さまに温かく迎えていただき心より感謝しております。

患者・家族・共に働く仲間を尊重し、思いやりに満ちた看護を届けることができるよう、看護部長と共に努力してまいりたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



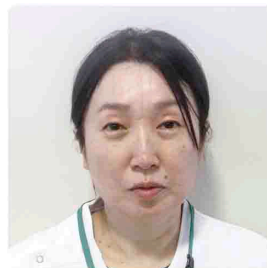
看護師長・4階病棟

蔵橋 知洋

(くらはし とむひろ)

この度、4月1日付けで関門医療センターより転任してまいりました蔵橋知洋と申します。山口宇部医療センターから見える桜や海に心が癒され、この環境で働けることを大変嬉しく思います。

患者さんやご家族にとって大切な時間がよりよく過ごせるよう、安全で安心な看護の提供を心がけ、スタッフと協力して臨んでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護師長(5階病棟)

松浦 美帆子

(まつうら みほこ)

この度、4月1日付で、東広島医療センターより赴任してまいりました。5階病棟看護師長の松浦美帆子です。赴任初日、山口宇部医療センターから見える海と桜並木がとてもきれいに感じ、また、新たな場所で看護師長として精進していきます。

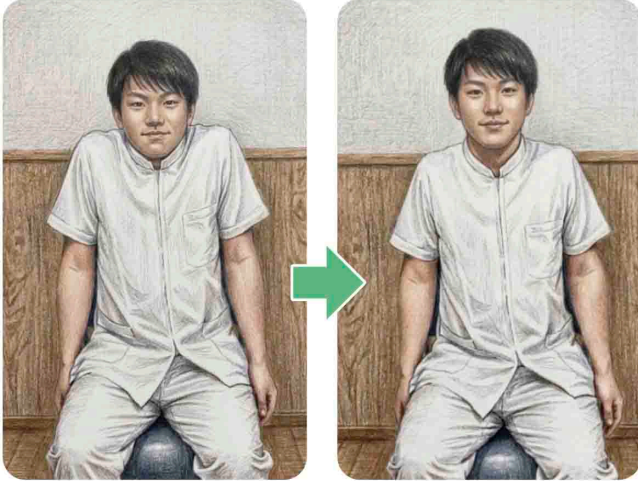
患者さん、家族の思い、希望に寄り添いながら看護を提供していきたいと思っておりますので、ご指導の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

呼吸体操

呼吸体操（呼吸筋ストレッチ）は、肺を動かす筋肉をほぐし伸縮性を高めることで、息切れの軽減、呼吸機能の向上等に効果的です。続けることで、胸や

肩の筋肉が柔らかくなり、深い呼吸が可能になります。無理（痛み）の無い範囲で、一度に5～10回を目標に行うようにします。

- 1** 肩をすぼめ(力を入れて)「ストン」と力を抜きます。



- 2** 右手を頭の後ろに、左手を胸に置きます。息を吐きながら体を左に捻ります。息を吸いながら元に戻します。左右手を逆にし同様に行います。



「マラウ」※の鯉のぼり



※山口宇部医療センター重症心身障害児(者)通所施設「マラウ」



特殊外来・健康教室・相談窓口等案内

令和8年5月1日 現在

特殊外来・健康教室名	場所(診療科)	予約	実施日時	担当
肺癌・中皮腫検診	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
石綿健康管理手帳検診				
じん肺健康管理手帳検診	画像診断科	○	火曜日	松本 常男
宇部市肺がん検診	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
宇部市乳がん検診	乳腺・消化器外科	○	月・金曜日	平澤 克敏
宇部市骨粗鬆症検診	放射線科	○	毎日	田中 伸幸
禁煙外来	内科	○	火曜日 午後2時～	前田 忠士
家族ケア外来	精神科	○	金曜日午前(完全予約制)	小野 光弘 / 長友 隆一郎
呼吸器ドック	内科	○	火曜日	前田 忠士
			木曜日	亀井 治人
日帰り人間ドック	内科	○	火曜日	前田 忠士
特定検診				
渡航時の各種証明及び検査	画像診断科	○	火・金曜日	松本 常男
就業時等の身体検査				
CTによる肺癌検診	放射線科	○	平日12時～19時	田中 伸幸
			第4土曜10時～12時	
乳癌検診	乳腺・消化器外科	○	月・金曜日 午後1時～	平澤 克敏
睡眠時無呼吸症候群外来	呼吸器内科	○	火曜日 午後2時～3時	坂本 健次
てんかん外来	精神・神経内科	×	毎日	小野 光弘
セカンドオピニオン外来	外来診察室	○	毎日(完全予約制)	各種対象疾患担当医
がん相談支援外来	がん相談支援室	×	毎日	がん相談支援室看護師
呼吸器疾患看護外来	外来診察室	○	毎月第1・3木曜日 午前 (完全予約制)	認定看護師
がん看護外来	外来診察室	○	毎日(完全予約制)	認定看護師
非結核性抗酸菌症(NTM)外来	呼吸器内科	○	第2、4火曜日	坂本 健次
			第1、3金曜日 午後1時30分～	恐田 尚幸

診療科	概要	月	火	水	木	金
内科新患外来		亀井 治人 兼定 晴香	近森 研一 兼定 晴香	前田 忠士 沼田 将輝 米澤 恒成 (午前のみ)	綿田 誠 (午前のみ) 谷口 太一	角川 智之 藤井 哲哉 (午前のみ) 原田 美沙 (午前のみ)
内科紹介外来	(連携室予約のみ)	亀井 治人	亀井 治人	亀井 治人		亀井 治人
内 科			石田 浩一			石田 浩一
呼吸器内科		坂本 健次 沖村 昌俊	恐田 尚幸 坂本 健次 渡邊 倫哉 一山 康 吉山 大貴	恐田 尚幸 上原 翔 柳 大樹 兼定 晴香	坂本 健次 兼定 晴香 渡邊 倫哉 吉山 大貴	上原 翔 兼定 晴香 沖村 昌俊 柳 大樹 一山 康
腫瘍内科	抗がん剤治療 肺がん等	前田 忠士 近森 研一		近森 研一	前田 忠士	
画像診断科	画像診断等		松本 常男			松本 常男
呼吸器外科新患外来		井野川 英利		井野川 英利	岡田 真典	
呼吸器外科・外科	肺がん	沖田 理貴 岡田 真典		井野川 英利 岡田 真典	井野川 英利 沖田 理貴	
乳腺・消化器外科	胃がん・ 大腸がん等	平澤 克敏		平澤 克敏 (午前中のみ)		平澤 克敏 (手術で不在の場合あり)
緩和ケア内科	※完全予約制		小笠原 啓子		小笠原 啓子	
放射線科	画像診断・ 放射線治療等	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜 松本 常男	田中 伸幸 田口 耕太郎 神谷 正喜
小児科	重症心身障害児(者) 発達障害児(15歳まで) ※予約制	小林 光	奥田 裕美	奥田 裕美		奥田 裕美
精神科	てんかん等	小野 光弘		小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘

※下記診療科は入院患者のみ診療

消化器内科	内視鏡等 ※午前のみ				松本 俊彦	
整形外科	リウマチ・骨粗鬆症等 ※午前のみ					藤本 和弘
歯科	13時～			島田 果穂	野田 健人	
耳鼻いんこう科	13時～			清水 菜津子		
神経内科	13時～				神田 創	
皮膚科	14時～				杉本 紘子	
循環器内科	9時30分～12時30分 13時00分～17時00分	佐野 元昭		石口 博智	奥田 真一	

① 外来受付時間：午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間：午前8時45分～】

※内科新患外来：午前9時30分～11時00分 / 内科紹介外来：午前9時00分～11時00分

※中学生以下の患者さんにつきましては、事前に地域医療連携室までご相談ください。

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CTの外来紹介は、地域医療連携室までご連絡ください。



独立行政法人 国立病院機構

山口宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241 山口県宇部市東岐波685番地

TEL.0836-58-2300(代) FAX.0836-58-5219

<https://yamaguchiube.hosp.go.jp/>



患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで



地域医療連携室

受付時間 / 毎週月～金曜日(祝日及び年末年始を除く) 8時30分～17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938